



マイクロン、256GB DDR5 サーバーモジュールをサンプル出荷開始 AIパフォーマンスを再定義

1V DRAMと高度なパッケージング技術により業界最速水準のパフォーマンスを実現

2026年5月12日、米国アイダホ州ボイシ — Micron Technology, Inc. (Nasdaq:MU)は本日、256GB DDR5 レジスタード・デュアル・インライン・メモリ・モジュール(RDIMM)のサンプル出荷を、主要なサーバーエコシステムパートナーを対象に開始したと発表しました。本製品は、マイクロンの最先端の1V(1ガンマ)テクノロジーを基盤とし、最大9,200メガトランスファー/秒(MT/s)の速度を実現します*¹。これは、現在量産されているモジュールに比べ40%以上高速です。このモジュールは、シリコン貫通電極(TSV)を用いて複数のメモリダイを接続する3次元積層(3DS)の高度なパッケージング技術を採用しています。マイクロンの1V DRAMとの組み合わせにより、次世代AIシステムの拡張に必要な容量、速度、電力効率を提供します。単一の256GBモジュールで、128GBモジュール2基を用いた場合と比較して動作電力を40%以上削減できるため、今日のAIデータセンターにおいてより高い効率を実現します*²。

エコシステムパートナーによる検証

マイクロンは、主要なエコシステムパートナーと協力し、各社の現行および次世代のサーバープラットフォームにおいて、256GB 1V DDR5 RDIMMの検証を進めています。この共同検証により、幅広いプラットフォームとの互換性が保証され、大規模なAIおよびHPC(ハイパフォーマンス・コンピューティング)インフラストラクチャを構築するデータセンターのお客様による、これらプラットフォームの本番環境への導入プロセスを加速します。

マイクロン クラウドメモリ事業部門シニアバイスプレジデント兼ゼネラルマネージャーのラジ・ナラシンハン(Raj Narasimhan)は「容量、帯域幅、電力は、AIの効率性を左右する重要な要素です。マイクロンの256GB DDR5 RDIMMにより、サーバーのパフォーマンスは大幅に向上します。高度な3DSおよびTSVパッケージングを用いた1V DRAMを基盤とするこのソリューションは、業界をリードする速度と電力効率を実現し、データセンターのアーキテクトがAIインフラストラクチャをより効率的に拡張できるよう支援します」と述べています。

AI時代のメモリ需要への対応

大規模言語モデル(LLM)、エージェントAI、リアルタイム推論、およびコア数の多いCPUワークロードの急速な普及により、エンタープライズサーバーに対するメモリ容量の拡大、より広い帯域幅、電力効率の向上がこれまで以上に求められています。マイクロンの256GB DDR5 RDIMMはこれらの要件に正面から応え、サーバーアーキテクト、ハイパースケーラー、およびプラットフォームパートナーが、最新のデータセンターインフラストラクチャの熱および電力制約の範囲内で、ソケットあたりのメモリ容量を最大化できるようにします。

サンプル出荷と提供時期



マイクロンの1yベースの256GB DDR5 RDIMMは現在、プラットフォーム検証用として、主要なサーバーエコシステムパートナー向けにサンプル出荷されています。マイクロンのデータセンターソリューションの詳細については、[マイクロンデータセンターメモリのウェブページ](#)をご覧ください。

*1 パフォーマンスの優位性は、9,200 MT/s と 6,400 MT/s の製品を比較して計算されています。

*2 動作電力の測定単位はワットです。9.7W で動作する 128GB モジュール 2 つ(合計 19.4W)と、11.1W で動作する単一の 256GB モジュールを比較して計算されています。

Micron Technology, Inc.について

マイクロンは、情報のあり方を変革し、すべての人々の生活を豊かにするために、革新的なメモリおよびストレージソリューションを提供するリーディングカンパニーです。顧客第一主義を貫き、テクノロジーの最前線でリーダーシップを発揮し続け、洗練された製造技術と事業運営を妥協なく追及するマイクロンの製品ポートフォリオは、DRAM、NAND、NORの各種メモリからストレージ製品まで多岐にわたり、高性能な製品を多数展開しています。マイクロンで生まれた数々のイノベーションは、データの活用を加速すると同時に、人工知能(AI)や計算集約型アプリケーションといった最先端分野の進歩の基盤として、データセンターからインテリジェントエッジまで、さまざまな事業機会を新たに生み出し続けています。Micron Technology, Inc. (Nasdaq: MU)に関する詳細は、micron.comをご覧ください。

© 2026 Micron Technology, Inc. All rights reserved. 情報、製品、仕様は予告なく変更されることがあります。マイクロン、マイクロンのロゴ、およびその他のすべてのマイクロンの商標は、Micron Technology, Inc.の商標または登録商標です。